

原料費調整（スライド）制度に基づく 2025年10月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

■「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2025年10月検針分に適用される従量料金単価を、2025年9月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m³あたり+0円85銭（税込）調整させていただきます。

■標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合、ガス料金は月額6,562円（税込）となり、18円（0.28%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2025年5月～2025年7月のLNG、プロパンの平均原料価格を2025年5月～6月の貿易統計確報値、2025年7月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は85,740円/t となります。2025年9月検針分のガス料金調整額を算定した2025年4月～6月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2025年5月～7月の実績平均原料価格は、トンあたり1,320円下降することになりますが、政府の支援による値引き額が10.0円/m³（税込）から8.0円/m³（税込）に減額されますので、料金調整は上記のとおりとなります。

政府の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」の詳細につきましては、資源エネルギー庁の特設サイト「電気・ガス料金支援」をご覧ください。

<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>

●2025年10月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2025年9月検針分の従量料金単価に対して、+0.85円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価(1m ³ あたり)	
			2025年10月	2025年9月
A	0 m ³ から10 m ³ まで	1,215.61円	279.66円	278.81円
B	10 m ³ を超え170 m ³ まで	1,694.11円	231.81円	230.96円
C	170 m ³ を超え500 m ³ まで	10,576.83円	179.56円	178.71円
D	500 m ³ を超える	12,721.83円	175.27円	174.42円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※政府の支援により、2025年9月の従量料金単価は10.0円/m³(税込)、2025年10月の従量料金単価は8.0円/m³(税込)が値引きされています。

●2025年10月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭(1か月のご使用量が21m³)の場合

2025年10月適用料金 (a)	2025年9月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,562円	6,544円	+18円	+0.28%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年~2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格(円/t)および従量料金単価調整額(円/m³)

	2025.5~2025.7	2025.4~2025.6	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	85,670	89,950	97,030
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	81,820	84,690	95,050
平均原料価格(LNG換算)	85,740	87,060	97,170

■2025年5月~2025年7月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\ &= 85,670 \text{円/t} \times 0.9788 + 81,820 \text{円/t} \times 0.0231 \\ &= 85,743.838 \text{円/t} \text{ (10円未満四捨五入)} \\ &= \underline{85,740 \text{円/t}} \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 85,740 \text{円/t} - 97,170 \text{円/t} \\ &= -11,430 \text{円/t} \text{ (100円未満切捨て)} \\ &= \underline{-11,400 \text{円/t}} \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1m³あたり)の算定

$$\begin{aligned} \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} - \text{政府の支援による値引き} \\ &= \{ -11,400 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.080 \times 1.1 \} - \underline{8.0 \text{円}} \\ &= -18.032 \\ &= \underline{-18.04 \text{円/m}^3} \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

	2025年10月	2025年9月	増減
調整額(円/m ³ ・税込)	-18.04	-18.89	+0.85

以上

本件に関するお問い合わせ

日本海ガス株式会社

管理部料金センター 長谷川

TEL: 076-442-5020